

試験で使える小技

～ カタカナ用語は、漢字に変換してみても！ ～

以前、このコーナーで『分からない問題は「漢字」に着目』ということをお説明しました。今回は、その応用編として『カタカナ用語は、漢字に変換してみても！』について説明します。

★★★

福祉資格試験では、カタカナ用語の意味を問うものや、選択肢の記述の中にカタカナ用語が含まれているものが散見されます。特に社会福祉士・精神保健福祉士試験では、事例文を読んで、その内容がどの用語に該当するかを確認する問題が出題されやすくなっています。このような問題は、カタカナ用語の意味を知らなければ解くことができませんし、試験に向けて「すべてのカタカナ用語を覚える」というのも、ちょっと無理があります。

★★★

そこで、意味の分からないカタカナ用語は、漢字(日本語)に変換しちゃいましょう。漢字変換は強引でも構いません。漢字にすることで自分の中で意味を持たなかったカタカナ用語が意味を持ち始めてきます。

★★★

例えば「アウトリーチ」は、積極的介入という意味合いで用いられますが、この意味を知らなかった場合には、「アウト」「リーチ」のように区分し、「アウト＝外」「リーチ＝腕(手)」というように変換してください。そうすれば、「腕を外へ」「腕を内ではなく、外に出す」「腕を外にまわす」などと連想することができ、「積極的介入」にたどり着かなくても、「どちらかというポジティブなものなのかな」と捉えることができます。

★★★

こんな感じで少しでも正解に近づけてみてください。もちろん用語の中には、漢字変換が難しく、この小技が適用できないものも数多くありますが、それは学習時に「漢字変換できなそうだから予め覚えておこう」と対策なさってください。

よかったら試してくださいね。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

